

## 大人気!サイエンスラボ

本園の課外教室のなかで、多数の年長さんが受講しているのがサイエンスラボクラブ。不思議がいっぱい詰まったこの時間が、子どもたちの知的好奇心をくすぐります。今回は、そのサイエンスラボクラブを年中さんが体験しました。

最初に園児たちの気持ちを高ぶらせたアイテムは、実験用白衣でしょう。着用して「かっこいい!」とご機嫌になり、小さな博士たちはラボに向かいました。そこに待ち受けていたのは「水」。講師の先生が子どもたちにクイズを出しました。講師:「水の入っている容器に小さな穴が空いているよ。これをひっくり返したらどうなる?」

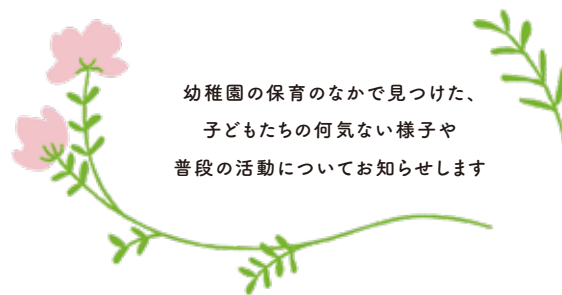
園児:「こぼれる〜!」←自分の経験から予測を立てます。

講師:「本当かな、実際にやってみよう。」

園児:「わーっ、こぼれない!」←驚き!なぜ?不思議!と心が動くと同時に探求心が生まれます。

講師:「じゃあ、どうすれば、水は出てくると思う?」

園児:「めっちゃくちゃ振ってみる。」「斜めに傾ける。」「押す。」←思考し、予測を立てます。



幼稚園の保育のなかで見つけた、  
子どもたちの何気ない様子や  
普段の活動についてお知らせします

講師:「よし、『回す』も入れて、どれが一番速く水が出るか実験してみよう。」  
園児:「えーっ!?『回す』が速かった!」←予測と違う!予測通り!でもどうして?  
探究心や知的好奇心が大きくなります。

このように体験を通して心がときめいたり、自分なりに考えたりすることで、園児たちの知的好奇心が育まれます。このプロセスは本園の保育活動でも同じです。できることが増える喜び、新しい知識を得る喜びは「楽しむ」ことから始まります。さあ、来年度もたくさん「楽しむ」時間を過ごしましょう!



## 大きくなったね、年少さん

年度末になると、一人ひとりの園児の成長を振り返り、感慨深くなります。2019年度も、みなさんの「できるコト」がたくさん増えました。

特に年少さん!その成長ぶりには目を見張るものがあります。まずは登園時の様子から。どんなに重い荷物でも自分のものは自分で持ち、しっかりと歩きます。玄関で友達と出会えばにっこりと笑い合い、後ろを振り返ることなく、ずんずんと園内に入っていきます。挨拶のときは両足をそろえて立ち止まり、丁寧に辞儀をします。礼儀正しさが光っています。ポーズだけではなく、しっかりと心がこもっています。

他にも、鏡を見ながら身だしなみを整える手伝いをしてあげると、「先生、ありがとう。」と目を見てお礼を言ってくれます。友達の飲んでいたお茶がこぼれたときには、さっとハンカチで濡れた場所を拭いてくれます。すばらしいです。たまに先生に促されてすることもありますが、ほとんどの場合、自分で気づいて、自ら進んで行っています。ちゃんと心も育っている証拠ですね。

貴重な1年間を友達や先生と一緒に、毎日丁寧に過ごし、一つひとつを積み上げてきた成果ですね。ここで培ったものを大切に、次の1年間も自分らしく園生活を送ってほしいです。



まなび、おもいをつたえる

# anone

あーね



vol. 45  
March

## 食育 ～年長さんのパン作り～

園長 田中 幸枝

最近よく聞くようになった「食育」という言葉は、その昔、明治時代に石塚左玄氏\*が作った造語だそうです。時代が流れ、2005年に食育基本法が成立して以降、「食育」という言葉が身近になり始めたのではないのでしょうか。

そもそも「食育」とは、「食」を通して心身の健康と豊かな人間性を培うことを目的としています。そのため、特に幼い子どもには知育や徳育、体育よりも先に全ての根元を育てる「食育」を行う必要があると考えられています。

本園で行っている「食育」は、畑で野菜を育てたり、クッキングをしたりと多彩です。これらの経験から何が育まれるのかということ、食べ物が生まれる過程を知ること、食材への関心や感謝の気持ちが生まれ、食べたいものや好きな食べ物が増えるという効果があります。また、クッキングは子どもたちの五感を大いに刺激して脳を活性化させます。さらに、食を話題にしたコミュニケーションが生まれたり、伝統文化や地域の特産物に興味広がったりするきっかけにもなります。実際に、本園の食育活動を通して野菜嫌いがなくなった子どもや、苦手だった野菜が大好きになった子どもも珍しくありません。好き嫌いを克服できた結果、生活態度や表情にまで変化が現れ、何事に対しても積極的になることが多く見受けられます。

本園では色々なクッキングを実施するのですが、毎年年長さんには「パン作り」に挑戦してもらっています。子どもがパンを作るなんて想像できないかもしれませんが、これがなかなかの得意な栄えなのです！なぜ、パン作りをするのかというと、私自身が初めてパンを作ったときに感じた、ふわふわのパン生地のなんととも言えない感触に感動したのがきっかけでした。外的刺激でこんなに優しい気持ちにしてくれるものがあるのかと感じ、ぜひ子どもたちにもパン生地にふれてほしいと思ったのです。

今回、年長さんがチャレンジしたのは「ベーコンエビ」です。「エビ」はフランス語で「麦の穂」という意味。ハサミを使って大胆に切り込みを入れて麦の穂を表現していきます。一人3つベーコンエビを作ってもらったのですが、2つ目3つ目を作る頃には先生のお手伝いは全く不要。それぞれの子どものらしさが表れた個性豊かなベーコンエビが焼きあがりました。



給食の際に焼き立てを1ついただき、残り2つはお土産に持ち帰ってもらいます。このお土産も私なりのこだわりで、持ち帰ったパンを囲んで家族でパン作りの話をして欲しいからなのです。作った本人が自慢げに話す姿を想像すると、なんだか私まで嬉しくなります。本園の子どもたちが野菜の栽培やクッキングを通して食に対する興味が確実に高くなっていることは言うまでもありません。

全ての根元となる規則正しい生活習慣や、正しく食を選ぶ力は、子どもたちのこれからの「知」「徳」「体」の育みを大いに支え伸ばしてくれることでしょう。

食べる力は、生きる力。卒園後も、力強く歩んで行くことを願うばかりです。

※石塚 左玄(1851～1909):明治時代の日本の医師・薬剤師。  
日本で初めて食育を提唱。



## \\ イベントのおしらせ //

### 幼稚園体験&幼稚園説明会

[開催日時] 3月28日(土) 幼稚園体験9:45～10:35  
幼稚園説明会10:50～11:30

[開催場所] 幼稚園・幼稚園舎2階 同窓会ホール

[参加対象者] 2021年度・2022年度入園の未就園児と保護者  
[イベント内容] 本園で実践されている保育を親子一緒に体験していただきます。幼稚園体験終了後に説明会を実施。幼稚園の活動内容や園児の様子をご紹介します。

要予約

こちらより  
受付中!



### 2020年度園庭開放開始日

[開催日時] 4月3日(金) 10:30～11:30

[受付場所] 幼稚園職員室

[イベント内容] 2020年度用の「来園許可証」を発行いたします。園庭で自由にお遊びください。焼き立てパンのお土産つきです!

予約不要

### 幼稚園案内ツアー

[開催日時] 5月29日(金) 9:30～(1時間程度)

[イベント内容] 保育活動の様子や幼稚園施設を園長が説明しながらご案内します。  
※予約についての詳細は後日Webに掲載

要予約

### 運動会

[開催日時] 5月31日(日) 9:00～ ※雨天時は6月1日(月)

[開催場所] 帝塚山学院本校グラウンド

[イベント内容] 未就園児競技に親子で出場していただけます。

予約不要

### 幼稚園説明会

[開催日時] 6月14日(日) 10:00～

[開催場所] 幼稚園舎2階 同窓会ホール

[イベント内容] 本園の教育内容や特徴などについて説明をさせていただきます。

予約不要

各イベントの詳細は  
幼稚園ホームページを  
ご覧ください。



スマートフォンはこちら

帝塚山学院幼稚園  
公式Instagram更新中!

@tezukayamagakuin  
\_youtien



○2020年度用年間イベント予定は、4月初旬にWebサイトに掲載予定○



帝塚山学院幼稚園

〒558-0053 大阪市住吉区帝塚山中3丁目10番51号  
[TEL]06-6672-1151(代) [FAX]06-6672-0031

[https://www.tezukayama.ac.jp/kinder\\_garten](https://www.tezukayama.ac.jp/kinder_garten)

[併設校] 帝塚山学院小学校 / 帝塚山学院中学校高等学校  
帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校 / 帝塚山学院大学 / 帝塚山学院大学大学院